

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

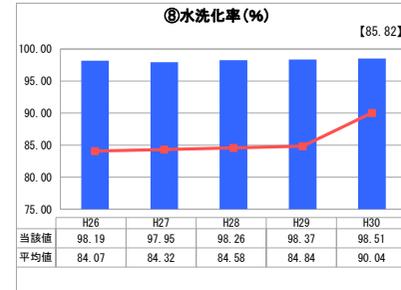
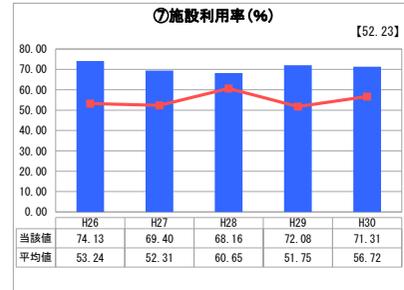
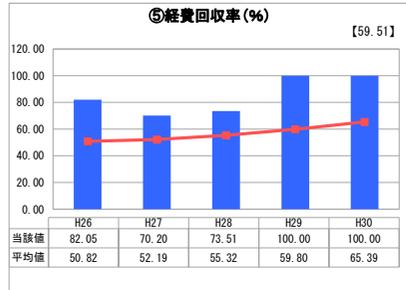
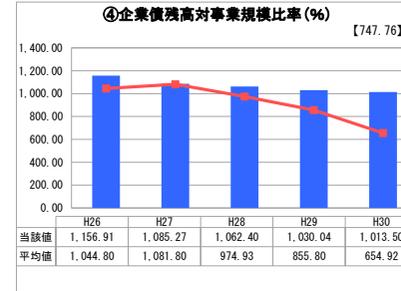
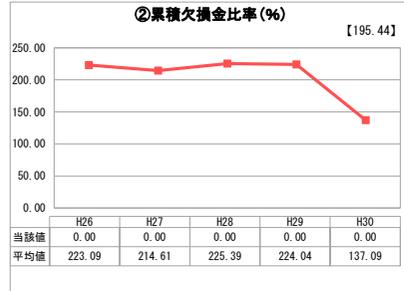
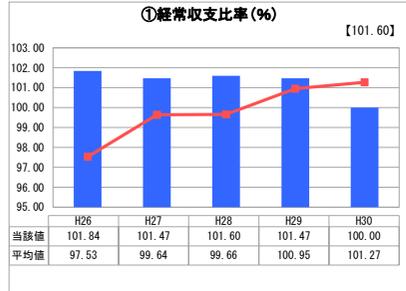
富山県 高岡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20 <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	69.48	2.16	75.90	3,412

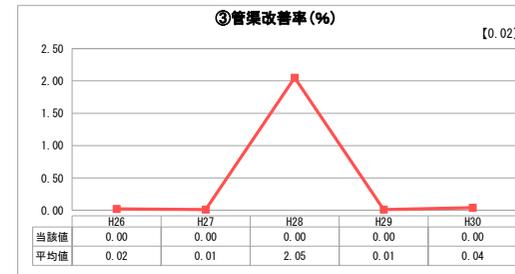
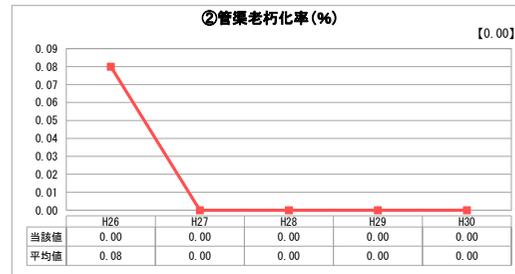
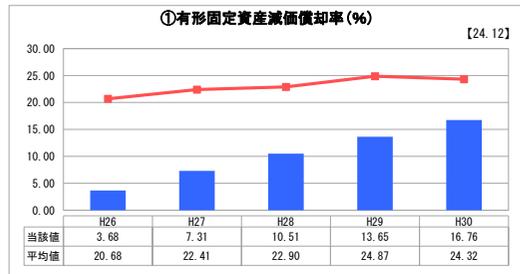
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
171,984	209.57	820.65
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,694	1.52	2,430.26

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率は、100%を保持し、累積欠損金は発生しておらず健全な経営状況にあるといえる。今後も業務効率化を図る中、健全経営に努めていきたい。
- ・流動比率は、企業債償還金が大なる負担となっているため、全国・類似団体平均を下回っている。
- ・企業債残高対事業規模比率は、全国・類似団体平均を上回っているもの、現在、農業集落排水事業においては企業債を発行しておらず、企業債残高は年々減少傾向で推移していく。
- ・経費回収率は、100%となっており、適切な使用料水準であると言える。今後も業務の効率化を図る中、使用料水準を維持できるよう努めていきたい。
- ・施設利用率は、全国・類似団体平均を上回っているが、人口減少により処理水量は減少傾向にある。今後の需要を見極める中、施設規模の見直しを図る必要がある。
- ・水洗化率は、全国・類似団体平均を上回っているもの、水洗化人口は、人口減少に伴い減少傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

- ・有形固定資産減価償却率は、平成26年度から地方公営企業法を適用しており、全国・類似団体平均を下回っている。
- ・管路経年率は、事業着手が比較的浅いため、法定耐用年数を超えた管路はない。

## 全体総括

- ・効率的な事業運営に努めた結果、経常収支比率、経費回収率は100%を超え、概ね健全な経営状況にあると言える。しかし、企業債償還金の負担が大なるため流動比率が低く、今後さらなる経営改善が必要である。また、人口減少に伴う使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、経営環境は今後ますます厳しくなると予想される。
- ・今後、施設の老朽化に伴う更新需要の増大が見込まれることから、流域下水道への接続を検討するなど、効率的な事業運営に努めていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。